

2026 年 9 月 8 日

株式会社博報堂 D Y ホールディングス

**博報堂 D Y ホールディングス、虎ノ門広告祭 2026 の実行委員会に参画
主催者として 2 つの特別セッションの実施も決定
— 未来世代のクリエイターと共に未来の常識を形作るワークショップも開催 —**

株式会社博報堂 D Y ホールディングス（本社：東京都港区、代表取締役社長：西山泰央、以下 博報堂 D Y ホールディングス）は、2026 年 10 月 9 日（金）～2026 年 10 月 17 日（土）の 9 日間、虎ノ門ヒルズの情報発信拠点・TOKYO NODE（東京ノード）（運営：森ビル株式会社）にて開催する日本最大級※1 の広告クリエイティブフェスティバル「虎ノ門広告祭 2026」の実行委員会に参画することをお知らせします。また、本広告祭期間内にて、主催者として 2 つのセッションを実施いたします。



■ 虎ノ門広告祭 実行委員会に参画した背景

虎ノ門広告祭は、ビジネス、デザイン、テクノロジー、エンターテインメントをつなぐクリエイティビティをテーマとするクリエイティブフェスティバルです。その目的は「所属や領域を超えた多様な担い手たちによる広告クリエイティブの可能性やミライを発信するとともに新たな発見と対話の場を創出すること」を掲げています。博報堂 D Y ホールディングスでは、本広告祭の趣旨に賛同し、日本の広告業界及びクリエイティビティの発展に寄与すべく、実行委員会として参画することとしました。

■ 開催概要

- ・ 名称：虎ノ門広告祭
- ・ 開催期間：2026 年 10 月 9 日（金）～2026 年 10 月 17 日（土）9 日間
- ・ 会場：TOKYO NODE （東京都港区虎ノ門 2-6-2 虎ノ門ヒルズ ステーションタワー 8F、45～49F）
- ・ 主催：虎ノ門広告祭実行委員会
- ・ 特設サイト：<https://toradfes.com/>
- ・ チケット販売 URL：<https://eventory.cc/event/toradfes/tickets>

■ 博報堂 D Y ホールディングス 主催セッションについて

博報堂 D Y ホールディングスでは、本広告祭の主催者として 2 つのセッションを開催します。

1. 未常識ラボ ―「未」ってミライだ。無限大だ。

日程：2026 年 10 月 10 日（土）16:00～19:00

場所：WORKSHOP SPACE

登壇者：菅順史（株式会社博報堂 クリエイティブ局）、他

内容：当日発表されるテーマに対して、未だ当たり前になっていない“未来の常識”を未来世代を担うクリエイターたちとのかたちにしていくことを目指すワークショップです。

備考：本ワークショップの参加者は事前応募制となります。

当日のワークショップの様子は、整理券をお持ちの方はどなたでもご覧いただけます。

2. CREATOR'S FUTURE VIEW ― クリエイターが見る未来社会（仮）

日程：2026 年 10 月 15 日（木）10:30～11:30

場所：GALLERY STAGE

登壇者：ファシリテーター 吉澤 到（株式会社博報堂 D Y ホールディングス 執行役員）、他

内容：様々な課題に直面する生活者の未来や社会。未来を洞察する力や人間への感受性、新たな価値を生み出す力を駆使して、クリエイターに何ができるか、社会が期待するものは何か、について事例を交えながら登壇者とともに解き明かしていきます。

■ 虎ノ門広告祭とは

「虎ノ門広告祭」は、「ビジネス、デザイン、テクノロジー、エンターテインメントを繋ぐクリエイティビティ」をテーマに開催する、日本最大級の広告クリエイティブフェスティバルです。トークセッションを中心に、上映会、展示、参加型企画、交流会など多彩なコンテンツを展開し、世代や所属を超えたクリエイターたちが一堂に会する場として開催します。2025 年 10 月に開催した初回では、初開催にも関わらず 8 日間で 17,000 名を動員。120 のコンテンツを通じて、400 名以上のクリエイターが登壇・参加し、広告クリエイティブの可能性や未来について発信しました。

第 2 回となる今年は、会期を 9 日間に拡大し、さらにスケールアップしたプログラムを通じて、業界内外の多様な来場者に向け、新たな発見と対話の場を創出します。

虎ノ門広告祭 2025 振り返りムービー(https://youtu.be/eHXRIsg_jZU?si=lgNOxb54Q8jlufz7)

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社博報堂D Yホールディングス グループ広報・IR室 高橋・和田

koho.mail@hakuhodo.co.jp
